

暖かな春の風は木々を緑色に塗りかえてくれます。若葉の季節、心躍ります。

学校では子どもたちが一日一日をそれぞれの力を発揮しながら生活しています。授業中の姿、休み時間に走りまわる姿、本を読む姿、折り紙遊びをする姿、子どもたちが見せてくれる全ての姿が私たちに感動を与えてくれます。

誕生日カードに書くメッセージを考えると、その子のことを思います。ときどき写真を見ながら書くこともあります。いつも思うのは、一人ひとりが一生懸命に生活しているということです。自分に何ができるだろうか、そんなことを思いながらペンを取り、そして、少し嬉しそうな笑顔を見せてくれる子どもたちから力をいただいています。

## 【スマホ】

ニュースに、内閣府の2016年の調査から、スマホを持つ割合が、小学生27%、中学生52%、高校生95%、1日に3時間以上スマホを使う人は中学生で30%、高校生で47%に達するとありました。

最近、国の内外を問わず、SNS (Social Networking Service) を利用する人が多くなっていると感じます。国の指導者が自分の考えを発信する手段で使っているのを見ると、それがあたかも素晴らしい発信方法であるかのように思う人もいるかもしれませんが、便利なもの、よいものとされるものも、一定のルールの中で使っていないとそのものが持つ負の部分が私たちの生活に悪い影響を与えかねないことは誰もが思うことでしょう。

スマホを使った交流は、これまで高校生、そして中学生の段階で多く行われ、同時にそれに伴う好ましくない利用もその段階でのものがほとんどでした。しかし、上の数字からも分かるように、小学生の所持率がまもなく30%になりそうな今、社会問題になっている「ラインやメールなどでのいじめ」「ネット犯罪」は間違いなく小学生の日常にも入り込んでくるでしょう。スマホを持たせ、しばらく使わせてから、あれはよくない、これはよくないと一つひとつ問題になることをなくして行こうと思う方もいるかもしれませんが、それはほぼ不可能であることがこれまでの様々な取り組みで分かっています。

持たせるのであれば、その前の約束、フィルタリングなど、家庭でしっかりと対応しなければならないでしょう。3時間以上スマホを使うと聞き、実にもったいない時間の使い方であると思うのは私だけではないはずですが、そして、同時に人に迷惑をかけない使い方を心がけることができる子どもたちになってもらわないといけません。

## 【自分でできること】

「先生、手裏剣の作り方教えて」と言われ、折り紙が苦手な私は作り方を調べてこっそり挑戦してみることにしました。案の定折り紙の端がそろわず、不格好な手裏剣が出来上がりました。翌日は折り紙での手裏剣作りは話題にならず、翌々日になると、「お父さんに教えてもらったよ」との報告がありました。そのときに、私が作った手裏剣が机の上にあるのを見つけると、「先生、これもらってもいい？」とのこと。私の力作(?)も行き場所が決まって何よりでした。なんでも、友だちから折ってほしいと言われることがとても嬉しいようで、ここ数日でいくつかの手裏剣を作ったその子は、自信を持って折り紙を手取るできるようになったようです。

子どもが興味を持ったこと、できるようになりたいと思うことを受けとめて応援してくださった家族の存在があること。このようなことはごく普通のことなのかもしれませんが、この普通がとても素晴らしいと思います。子どもが感じる小さな幸せ、安心感はこのことから生まれるのでしょうか。私も子どもたちから投げかけられることがらを面倒だと思わないように心がけ、気持ちを込めて応援できるようにしたいです。

## 【ささやかな伝統】

家を建てるためには多くの苦勞があり、そこでは暮らす人々の日々が積み重ねられていきます。幸せを願う気持ちがその家を支え、さらによい家庭、家が作られていくのです。そのように長い時間をかけて作りあげた家も、いざその建物を壊すとすると、3日で壊されてしまい、まるで何もなかったかのような土地になります。学校の伝統も実は同じだと思ふと子どもたちに話しました。

新年度になってしばらくして、朝の会の始まり、朝の遊びの切り上げ方がこれまでと違うと感じる日が続きました。私の学校自慢の一つに、朝の会が余裕を持って8時20分に始まるということがあります。みんながそのことを大切だと思い、実践してくれていると考えていました。子どもたちが自分で考えて行動するという習慣は一朝一夕にできるものではなく、実は長い時間をかけてようやく作り上げることができるものです。そうやってみんなで学校を作ってきました。だからこそ、このことを簡単に壊してしまうことだけはなんとか避けたいです。そのためにも、学校で生活する全ての児童・教職員の力合わせが大切です。